

秋田県 男鹿市

総合観光パンフレット



男 半 鹿 島

風光明媚

おが

火山礫凝灰岩が風化によって
独特の形に削り出された
自然の美術館

潮瀬崎(ゴジラ岩)

Photo By/T.Hirano

新型コロナウイルスの影響等により記載内容が変更となっている場合がありますので事前のご確認をお願いいたします。

男鹿観光に関する
お問い合わせ先

男鹿駅観光案内所
☎0185-24-2100

9:00~17:00(無休)

男鹿市観光課
☎0185-24-9141

8:30~17:15(平日のみ)

表示価格はすべて税込価格です

ウェブでさらに詳しい男鹿の観光情報を配信中
観光情報満載!男鹿市公認サイト 男鹿なび



男鹿観光アンケート調査にご協力ください

ウェブで男鹿観光に関する満足度調査を実施しております。
より魅力的な男鹿を目指すため、ぜひともご協力をお願いいたします。



発行／男鹿市観光課 2021.07版 内容は作成時点のものであり実際と異なる場合があります



秋田県 男鹿市

総合観光パンフレット

なまはげの里

おが

男 半 鹿 島

ユネスコ無形文化遺産

来訪神・仮面・仮装の神々

男鹿のナマハゲ



男鹿観光に関する
お問い合わせ先

男鹿駅観光案内所
☎0185-24-2100

9:00~17:00(無休)

男鹿市観光課
☎0185-24-9141

8:30~17:15(平日のみ)

表示価格はすべて税込価格です

ウェブでさらに詳しい男鹿の観光情報を配信中
観光情報満載!男鹿市公認サイト 男鹿なび



男鹿観光アンケート調査にご協力ください

ウェブで男鹿観光に関する満足度調査を実施しております。
より魅力的な男鹿を目指すため、ぜひともご協力をお願いいたします。



発行／男鹿市観光課 2021.07版 内容は作成時点のものであり実際と異なる場合があります



ユネスコ無形文化遺産・国指定重要無形民俗文化財

男鹿のナマハゲ

いまや秋田の象徴的存在となっている男鹿のナマハゲ。この民俗がなぜこの地にて、これほど長いあいだ愛されてきたのかをきっと感じることができます。

大晦日の晩、それぞれの集落の青年たちがナマハゲに扮して「立く子はいねがー、親の言うこと聞かね子はいねがー」「ここの家の嫁は早起きするがー」などと大声で叫びながら地域の家々を巡回します。男鹿の人々にとってナマハゲは、怠け心を戒め、無病息災・田畠の実り・山の幸・海の幸をもたらす、年の節目にやってくる来訪神です。

ナマハゲを迎える家では、昔から伝わる作法により料理や酒を準備して丁重にもてなします。男鹿市内の「ナマハゲ行事」は、かつて小正月に行われていましたが、現在は12月31日の大晦日に行われています。後継者不足などで、年々行う地区は減っていましたが、近年復活の動きもみせています。1978年「男鹿のナマハゲ」として重要無形民俗文化財に指定、さらに2018年にはユネスコ無形文化遺産に「来訪神・仮面・仮装の神々」のひとつとして登録されました。



男鹿市内各地区ごとの多種多様な面

ナマハゲ面は集落ごとに趣が異なり、素材もザル・紙・木彫りなど実際に様々です。ケデ(衣装)も、米づくりが盛んな集落ではワラ、漁村では古くなった漁網を使ったりなど、集落ごとに実際にバラエティに富んだ面・衣装があり、この多様さもまた、ナマハゲの魅力のひとつとなっています。

真鯛漬け

袋のまま5分ほど流水で解凍してあたたかいごはんにのせるだけ。そのままはもちろん、途中でだし汁やお湯をかけて鰯茶漬けとしても楽しめます。

オガーレで販売中! 電話注文やネット通販でお取り寄せもできます!!



ナマハゲの起源

漢の武帝にまつわる説 P6参照

昔ばなし「九十九段の石段」の、漢の武帝が弓を連れてきた鬼が五社堂に祀られて、ナマハゲの起りになったという説です。

修験者説

男鹿の本山・真山は古くから修験道の靈場でした。時々、修験者は山伏の修行姿で村里に下りて、人々をまわり祈祷を行いましたが、その凄まじい修験者の姿をナマハゲとして考えたという説です。



ナマハゲについてとことん知る、学ぶ、好きになる!「ナマハゲ伝導士認定試験」

毎年開催(例年11月~12月頃)

もっと男鹿のナマハゲについて深く知りたい。男鹿のナマハゲの本質について探求してみたい。そんな方におすすめなのが、毎年冬に開催しているナマハゲ伝導士試験。講義を通してナマハゲの作法や「しきたり」等その奥深さにあらためて男鹿独特の風習を知ることができるはずです。「ナマハゲについて興味があるけれど試験が難しそうだ」と考えている方も安心。試験に向けた研修会(なまはげ館・伝承館見学)・講義(講師によるナマハゲ全般の解説)に参加し、ナマハゲについて学んで頂くことができます。



せど 本物のナマハゲに逢える「なまはげ柴灯まつり」



毎年2月第2土曜をふくむ金・土・日 場 真山神社

男鹿市北浦の真山神社で1月3日に行われる神事「柴灯祭(さいとうさい)」と伝統行事「男鹿のナマハゲ」を組み合わせた観光行事で、毎年2月第2土曜をふくむ金・土・日に真山神社で行われります。境内の広場に焚かれる柴灯火のもと、男鹿地方独特の祓い神楽を奉納する「湯の舞」と、古い伝統的な湯立て神事である「鎮釜祭」でまつりは始まり、ナマハゲに扮する若者が神職にお祓いを受けた面を授かりナマハゲへと化し山へ戻る「なまはげ入魂」が行われます。神楽殿では男鹿市各地で大晦日に行われる伝統行事「男鹿のナマハゲ」の再現やお面や衣装が異なる男鹿各地のナマハゲの登場する「里のなまはげ」、また郷土芸能として定着した勇壮な「なまはげ太鼓」の演奏が繰り広げられます。秋田出身の現代舞踏家・故石井漠氏の振り付けと子息の作曲家・石井歓氏の曲による「なまはげ踊り」も圧巣な雰囲気です。まつりの終盤、松明をかざしたナマハゲが雪山から降りてくる姿は幻想的です。下山したナマハゲが観客であふれる境内を練り歩き、まつりはクライマックスを迎えます。柴灯火で焼かれた護摩餅を神官からナマハゲに捧げられ、ナマハゲは山深くの神のもとへと帰っていきます。



大迫力！多種多様なナマハゲが勢ぞろい

なまはげ館

男鹿産出の寒風石による石積み造りの外壁と、秋田杉をふんだんに利用した内装が雰囲気を感じさせる館内には、ナマハゲに関する貴重な資料が展示されています。それぞれ微妙に風体が異なる150を超える男鹿の各地区的ナマハゲ面が一同に展示されている勢ぞろいコーナーは圧巻の見ごたえです。

☎ 0185-22-5050 時 8:30~17:00(年中無休)

¥ 伝承館との共通入館料880円(小中高生550円)

なまはげ館のみ 550円(小中高生275円) ※各団体割引あり
12月~3月 共通入館料1,100円(小中高生770円)



ナマハゲの迫力を間近で体験できる「男鹿真山伝承館」

男鹿地方の典型であった曲家民家を移設した伝承館では、地元真山地区のナマハゲの実演が行われ、家中を暴れまわるナマハゲを目の前で見ることができます。

☎ 0185-33-3033 時 毎日(12月~3月は要問合せ)

¥ 770円(小中高生550円・団体割引アリ)



ナマハゲゆかりの神秘のエリア「真山神社」

杉木立に囲まれた荘厳清楚な境内は、ナマハゲゆかりの地として、毎年2月に「なまはげ柴灯まつり」が行われることでも知られています。

神社前庭にあたる場所には慈覚大師の手植えと伝えられる、樹齢1000年余りの榧(かや)の巨木(県指定天然記念物)が立っています。

☎ 0185-33-3033

なまはげ館から車で約3分の神秘スポット

しんざんのまんたいぶつ 真山の万体仏

県指定有形民俗文化財



三間四面の壁から屋根裏一面にぎっしりと安置された小さな地蔵菩薩の数々に驚かされます。その数、一万三千体。今も近隣の人びとの厚い信仰を集めています。
(拝観無料)

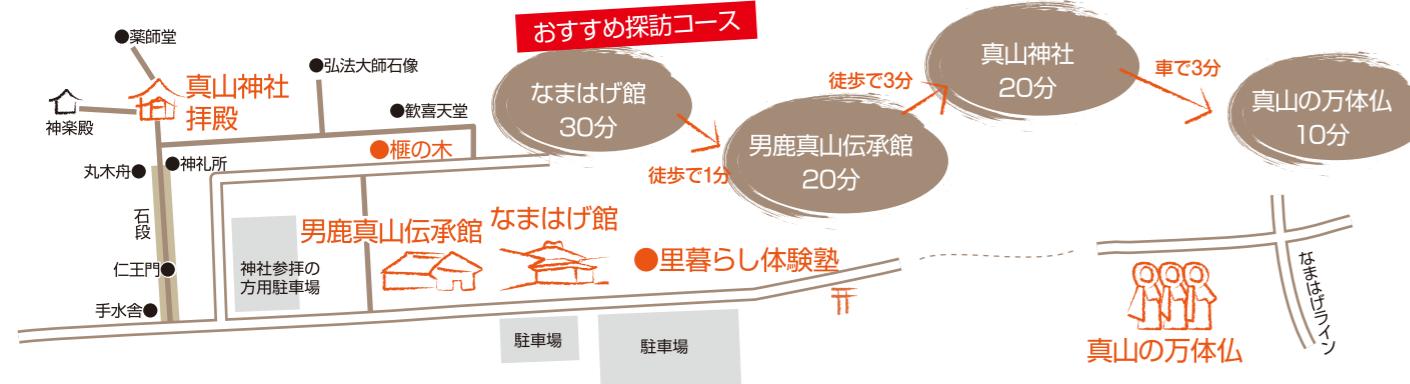


里暮らし体験塾

※催しなどの予定はホームページでご確認ください

ナマハゲの衣装などのワラ細工、地域の食材を使った保存食作りなどの男鹿の生活文化を、地元の人々とのふれあいを通して、見たり聞いたり、実際に体験できる施設です。

時 なまはげ館と同じ ¥ なまはげ館入館料に含まれます



ここでしか味わえない唯一無二の体感

なまはげ太鼓

国指定重要無形民俗文化財「男鹿のナマハゲ」と日本古来の「和太鼓」を融合させた古くて新しい男鹿独自の郷土芸能です。勇壮なナマハゲが叩く迫力ある和太鼓の演奏は、唯一無二の感動と興奮を与えてくれます。

なまはげ太鼓を見るなら、常設公演の「五風なまはげ太鼓ライブ」

なまはげ太鼓の常設ライブ公演を行っているのは、世界中でここだけ！
「これを見るためだけに男鹿に行く価値がある」と言わしめた、男鹿が誇る大人気アトラクション。ぜひ間近で体感してみてください。

期 4月下旬~11月上旬 時 20:30~(開場20:00/時間30~40分)

¥ 600円・小学生300円・幼児無料 場 男鹿温泉交流会館 五風 ☎ 0185-33-3191



ライブ会場の五風で楽しめる手づくり体験

男鹿おみやげ工房

なまはげ太鼓ライブの会場「五風」を会場に「ナマハゲの壁掛け」などの民芸品の手作り体験を開催しています。男鹿半島での旅の思い出作りに、ナマハゲ民芸品の工作体験はいかがでしょうか？

場 男鹿温泉交流会館 五風

時 9:00~16:30

人 1名様から(団体は要相談)

¥ 体験料 300円~1,800円





今も数多く残る伝説の足跡 赤神神社五社堂

あかがみじんじや ごしゃどう

鬼が築き上げたという九十九段の石段を登ると見えてくる赤神神社五社堂。

大伽藍が立ち並んだといわれる門前地区。

ナマハゲの起源となった伝説に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

国指定重要文化財

五棟の社殿は江戸時代の中頃建てられたものといわれ、向拝、屋根、柱、組み物などに珍しい工夫が見られます。赤神神社の赤神とは、漢の武帝のことと云われ、男鹿には赤神や鬼に関する言い伝えや伝説が数多くあります。

赤神現堂内にある厨子は、その様式から室町時代頃の造立と推定されており、昭和42年に国の重要文化財に指定されています。また赤神神社五社堂は秋田県の近世社寺建築を伝える重要な建物として、平成2年に国の重要文化財に指定されています。

門前地区のシンボルは人気のインスタ映えスポット



なまはげ立像

門前のなまはげ立像は、高さ9.99m。

五社堂の九十九段の石段にちなんだものです。

日本海に向かって手をかざし睨みをきかせる姿は

男鹿・門前地区のシンボルとして君臨しています。



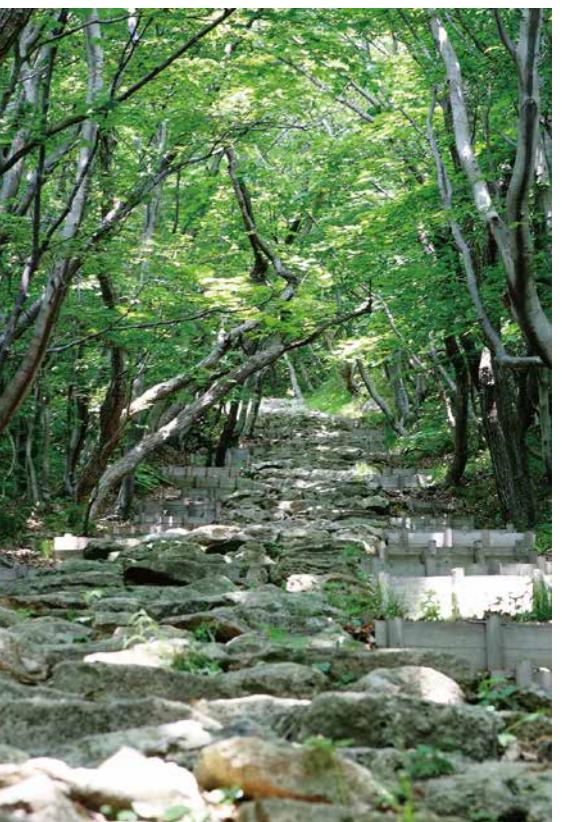
門前という地名

門前集落は、赤神山臼横寺永禅院の門前町（中世末以降、寺院の門前に発達した町）として栄えていました。ここには盛時に9万寺、48坊があったと伝えられ、大伽藍が立ち並んでいたといわれています。明治の廃仏棄釈により往時の面影をとどめているのは長楽寺だけです。

鬼が築き上げた伝説の九九九の石段

五社堂への石段には地元では有名な言い伝えがあります。

昔、漢の武帝につれてこられた五匹の鬼がいました。鬼は年中休みなく働かされていましたが、正月の十五日だけは自由が許されていました。村里へ下りた鬼たちは畑を荒らし、若い娘をさらっては乱暴を繰り返していました。困った村人は思案の末、武帝に「夜明けの一一番鶏が鳴くまでに、村から五社堂まで千段の石段を作ってくれ。見事完成させたら毎年娘を一人差し出そう。もし出来なかつたら鬼たちを二度と村には下さないでくれ」と相談しました。鬼たちはそれを引き受け、日暮れとともに石を積みはじめました。鬼たちの働きは思いのほか早く、慌て驚いた村の人たちは石段が九十九九段になったとき、天邪鬼に一番鶏の真似をさせました。それを見た鬼たちはあまりの悔しさと怒りで、傍らにあった千年杉の大樹を根こそぎ引き抜き、根を上にして大地にぐさりと突き刺し山へ帰ってしまいました。それからというもの、鬼たちがふたたび村に下りてくるということはありませんでした。逆に突き刺された杉の大樹は根を空に向けてしばらくは生えていましたが、今は五社堂境内の社務所に保存されています。



姿見の井戸

五社堂境内地の一段下、伝熊野堂跡の左側にある池が御手洗の池です。この池の右側に姿見の井戸とよばれる古い井戸があります。お山かけ詣りでは、参拝者が一年を占うため自分の姿を映し見たといわれていて、はっきりと映ればその年は健康で、はっきりしない時は災難や不幸にあり、まったく映らない年はその年のうちに死んでしまうこともあると信じられていました。

かつて修験者の通った信仰の古道をなぞるトレッキングコース

お山かけ

その昔、信仰の対象として山伏が修行した修験道であったといわれている門前から真山までの山道は、現在では「お山かけ」としてトレッキングのコースとなっています。五社堂をはじめ五鬼伝説などの伝説や貴重な歴史的文化遺産、自然遺産の宝庫をめぐることができます。



赤神神社五社堂から車で約7分。悲恋の物語が伝わる椿の名所



ツバキ自生北限地帯 能登山の北限の椿 のどやま

国指定天然記念物

椿地区の能登山にある椿の群落は、自生北限地帯として大正11年に国の天然記念物に指定されました。見ごろの4月頃になると、濃い花の紅と葉の緑が力強い春を感じさせてくれます。

能登山の椿に伝わる悲しく美しい恋物語

その昔、加賀の國から盛んに商いの船がやってきました。あるとき、能登の船乗りの若者が村の娘と恋に落ちました。しかし若者は船乗りの身。二年後にきっとまた来る、そのときには必ず故郷の美しいツバキの実を持ってきて見せてあげよう、と約束して旅立ちました。娘は待ちました。若者に会う日を楽しみにしながら。

しかし、約束の二年が経っても若者は来ませんでした。娘は、あれだけ固く誓ったのに若者が来ないのは、難波して死んでしまったからに違いないと思いつめるようになりました。待ち焦がれて三年目のある日、娘は悲しみのあまり海へ身を投げました…

若者が再び村にやってきたのはそれから間もなくのことでした。悲しみに暮れた若者は村の岩山に登り、二人の約束だったツバキの実をひとつひとつ蒔きました。

ツバキの花が咲く岩山はいつしか、能登山と呼ばれるようになりました。長い冬の風がほころび始める四月頃、能登山にはツバキの花が美しく咲きます。

ナマハゲ なまはげ
ナマハゲはどこから来たのか?
Where Did The Namahage Come From?
生剥鬼来自哪里?
FREE ¥0
男鹿半島をめぐる旅
Audio Guide App
日本語/English/中文

海水浴やキャンプで疲れた体に!男鹿観光の途中に!温泉でリフレッシュ
温浴ラシドおか
男鹿市北浦北浦字平岡山1番地
0185-33-3715
夕陽温泉WAO
男鹿市野石字大場沢下1-17
0185-47-2926

**男鹿駅・男鹿温泉郷・なまはげ館・水族館など
男鹿の主要観光スポットをつなぐオトクな
なまはげシャトル**
ご予約・お問い合わせ/男鹿駅観光案内所
0185-24-2100(受付時間 9:00~17:00)

男鹿の観光、団体様のご旅行や遠征なら!
秋田観光バス(株)
大型バス8台、中型バス2台
小型マイクロバス6台、ジャンボタクシー4台
ご用意しております!
お客様から安心してバスをご利用いただけるよう
新型コロナウイルス対策を実施しております
貸切バスのご用命は
0185-27-8121
お電話お待ちしております!





道の駅おが オガーレ

0185-47-7515
休 ①12/31は14:00まで
②1/1~1/3
③2/26~27・3/26~27
(③は土日祝祭日の場合は変動アリ)

物産館 時 9:00~17:00
男鹿の海で獲れた新鮮な漁師直送の魚介類や旬の野菜
郷土色あふれる地元の加工品や工芸品など季節ごとの
男鹿ならではの物産を取りそろえています。

GAOのジェラート「ガオジェラ」
時 9:00~17:00
※10~11月 10:00~17:00
※12~3月 10:00~16:00
男鹿の塩を使った「海のジェラート」をはじめ、メロンや梨など、男鹿産の素材を使用したジェラートを販売しています。季節ごとに色々な味を楽しめるソフトクリームもオススメ。ジェラートはシングル、ダブルの2種類。
※運営／男鹿水族館GAO



東洋一の海岸線にある男鹿のレストラン

男鹿で獲れた魚介や海藻を使用した海鮮丼、地元のお肉屋さんのメンチカツを添えたカレー、男鹿名物の石焼鍋など、男鹿ならではの食材をふんだんに使用したメニューを提供するレストラン。ラーメン、うどん、蕎麦などリーズナブルなメニューもあり、諸井醸造の醤油を使用した「もろそふ」も人気。

0185-28-0300
時 10:30~18:30
※10~2月は平日17:00まで・土日祝日18:00まで
※イベント開催時は営業時間が一部異なる場合が御座います。



24時間利用可能な休憩所 道路観光情報コーナー

トイレ休憩や道路観光情報の収集ができるコーナーは24時間利用可能！サイクルラックやコインシャワーなど、自転車やマラソンなどのスポーツをされる方にも嬉しい機能が備わっています。

営業時間は予告なく変更となる場合があります。事前に道の駅おがウェブサイトにてご確認ください



船川(男鹿駅周辺)エリアマップ



e-Bikeやロードバイクの「レンタサイクル」



起伏が激しく、広大な男鹿半島の観光を気軽に楽しんでいただくために、日本初導入となる米トレック社製のe-bike（高機能電動アシスト付きスポーツ自転車）「Dual Sport+」等をご用意！また普段から自転車に慣れ親しんだ方、スポーツ自転車にも乗ってみたいという方にはロードバイクもご用意しております。

男鹿駅を拠点に

男鹿の海岸線を走り、景色や自然を肌で体感できます。ゆっくり景色を眺めながらいけるので、車では見逃してしまうような男鹿ならではの景色に出会えるかも！電車で男鹿にきて、半島内の観光用の足を探している方にもオススメです。

場 男鹿自転舎（ホテル諸井1F）※男鹿駅より徒歩1分

時 9:00~18:00（貸出受付は17:00まで）

※3月~11月は~17:00（貸出受付は16:00まで）

※金~月・祝日は予約なしでもご利用可（台数に限りあり）

火~木は原則要予約

¥ e-Bike 1時間1,000円~ ロードバイク 1時間500円~

※カードでのお支払いも可

070-2016-6697



男鹿温泉郷を拠点に

男鹿温泉郷を拠点に、入道崎や八望台、雲昌寺のあじさい、男鹿水族館GAOなど、宿泊とサイクリングをあわせて気軽に満喫できる、新たな男鹿の楽しみ方をご提案いたします！

場 男鹿温泉交流会館五風

時 9:00~17:00（貸出受付は16:00まで）※12~2月は休止

¥ e-Bike 1時間1,000円~ ロードバイク 1時間500円~

※カードでのお支払いも可

0185-33-3191



男鹿のサイクリング情報満載の
特設サイトはこちらから



遊覧船「澄海」で船川港を周遊

船川港湾内を周遊。

石油備蓄基地、なまはげ風車、寒風山などを見ることができます。

場 男鹿マリーナ発着（受付はオガーレ内）

時 10:20~11:30・13:20~14:30 ※所要時間30分程度

¥ 1,000円（12歳以下500円）

期 7月中旬~10月中旬の土日祝日（2021年）

交通アクセス

バスなどの二次交通では巡ることができないスポットが点在。
男鹿の魅力を存分に満喫するにはマイカーもしくはレンタカーがおすすめです。

お車 もしくは県外で手配したレンタカーでお越しの場合

男鹿まで

陸県からの距離と移動時間

東北自動車道 北上JCT→秋田自動車道→昭和男鹿半島IC。男鹿まで約20分。

秋田県	秋田市	約40km	約1H	国道7号線
青森県	青森市	約170km	約3.5H	国道7号線
	弘前市	約140km	約2.5H	国道7号線
岩手県	盛岡市	約220km	約3H	国道46号線
山形県	酒田市	約160km	約3.5H	国道7号線
	山形市	約260km	約5H	国道13号線
宮城県	仙台市	約300km	約4H	東北自動車道

秋田県内各地からの距離と移動時間

秋田駅	約30km	約40分
秋田空港	約50km	約1H
道の駅おおがた	約16km	約20分
能代市	約40km	約50分
八森ハタハタ館	約65km	約1.3H
道の駅象潟ねむの丘	約90km	約1.6H
鳥海山	約145km	約3H
道の駅おがち	約125km	約1.6H
十和田湖	約140km	約3H
秋田駅	約30km	約40分
田沢湖	約100km	約2H
角館	約80km	約1.6H
秋田ふるさと村	約100km	約1.3H
由利本荘市	約65km	約1H
道の駅象潟ねむの丘	約90km	約1.6H
鳥海山	約145km	約3H
道の駅おがち	約125km	約1.6H
秋ノ宮温泉郷	約140km	約2H

※男鹿総合観光案内所まで、高速道路(平均時速80km)・一般道(平均時速40km)を利用した目安の移動距離・時間

男鹿エリア内は海岸線を南→西の時計回りがおすすめ

西海岸の海岸線は時計回りなら車線が海岸寄りなので、いつそう楽しむことができます。

※船川地区(男鹿駅ちかく)にあるガソリンスタンドが西海岸まわりの最終GSになりますのでご注意ください。

総合案内所 → 男鹿温泉郷	約24km	約30分
男鹿温泉郷 → なまはげ館	約7km	約10分
男鹿温泉郷 → 男鹿水族館GAO	約7km	約10分
男鹿温泉郷 → 寒風山	約20km	約25分
男鹿温泉郷 → 入道崎	約5km	約10分
男鹿温泉郷 → ゴジラ岩	約21km	約30分
入道崎 → ゴジラ岩	約26km	約35分



お車以外 でお越しの場合

県外→秋田の交通手段は「新幹線」か「飛行機」があります

「秋田新幹線こまち」で秋田駅へ 定番

秋田駅 東京駅から片道17,800円~

東京から4時間弱

秋田駅からは①秋田駅のすぐ近くでレンタカーを手配して男鹿まで
②JR男鹿線で男鹿駅まで
③秋田エアポートライナーや秋田駅直行便で男鹿まで

「飛行機」で秋田空港へ

秋田空港

羽田	約1H	中部国際	約1.5H
新千歳	約1H	伊丹	約1.5H

秋田空港からは①空港のすぐ近くでレンタカーを手配して男鹿まで
②リムジンバスで秋田駅に行きJR男鹿線で男鹿駅まで
③秋田エアポートライナーや空港便で男鹿まで



秋田→男鹿の交通手段。秋田駅・空港直行のタクシープランもあります

レンタカー 定番

秋田駅 秋田空港

秋田駅・秋田空港のすぐそばにレンタカーサービス会社があります。

二次交通の整備されていない観光名所も多数ありますのでおすすめの移動手段です

秋田エアポートライナー「男鹿半島号」

秋田空港 秋田駅 寒風山 なまはげ館 男鹿温泉郷 戸賀・加茂

秋田空港・秋田駅から、寒風山・なまはげ館・男鹿温泉郷 戸賀・加茂をつなぐ相乗りタクシー。お一人様からご利用可

空港～男鹿温泉郷 6,500円／人



詳しくはウェブで

JR秋田駅～男鹿駅「JR男鹿線」 定番

秋田駅 男鹿駅

片道770円

秋田新幹線こまちでお越しの場合は、秋田駅から「男鹿線」で男鹿へ。

男鹿観光の基点「終点男鹿駅」までは約1時間

「五能線 リゾートしらかみの旅」に便利な 男鹿温泉郷～JR東能代駅「白神号」

男鹿温泉郷 JR東能代駅

3,000円／人

男鹿温泉郷から「リゾートしらかみ」発着駅のJR東能代駅までをつなぐ観光タクシープラン。白神山地への旅の宿泊拠点として男鹿温泉郷をご利用いただく際に最適です。

お問い合わせ 秋田観光バス㈱ ☎0185-27-8121

男鹿市内の移動手段。おすすめはレンタカー

時刻を気にせず好きな所をまわれる「レンタカー」がおすすめ 定番

男鹿駅

男鹿駅から徒歩2分! 男鹿市内唯一のレンタカーサービス会社です。

時 9:00～18:00(年中無休)

¥ 6時間3,300円～／1日7,700円～ ※長期貸し出しもあります

お問い合わせ 株式会社男鹿レンタリース ☎0185-27-8333

二次交通の整備されていない観光名所も多数ありますのでおすすめの移動手段です

入道崎の夕陽鑑賞バス「感動の夕陽号」

男鹿温泉郷 入道崎

1,000円／人(往復)

男鹿温泉郷発着。夕陽の時刻に合わせて日本の夕陽百選「入道崎」を往復する夕陽鑑賞バス。記念の夕陽の絵葉書付

申込 当日お泊りになる男鹿温泉郷の宿フロントで

※男鹿市内の路線バスは地域住民の生活路線を目的とした発着所・運行時刻となっており観光用途に適さない部分があります
時刻表は男鹿市役所ウェブサイトにてご確認ください

【タクシーメーター料金の目安】JR男鹿駅から(片道)

●寒風山 3,700円前後 ●なまはげ館 4,000円前後 ●男鹿温泉郷 5,700円前後
●入道崎 7,000円前後 ●ゴジラ岩 3,700円前後 ●男鹿水族館 GAO 7,500円前後

なまはげシャトル 定番

詳細・ご予約はウェブで

男鹿駅 男鹿温泉郷 なまはげ館 男鹿水族館 GAO 入道崎

男鹿駅・男鹿温泉郷と、なまはげ館・男鹿水族館 GAOなど男鹿の主要観光スポットをつなぐあいのりタクシー。

お一人様からご利用可

観光タクシー「寒風山号」

男鹿駅 男鹿温泉郷 寒風山

2,600円～／人 ※2名以上で運行

男鹿駅・男鹿温泉郷から寒風山回転展望台への観光プラン

お問い合わせ 船川タクシー ☎0185-23-2211

観光タクシー「西海岸便」

男鹿駅 男鹿水族館 GAO

片道1,500円／人 ※2名以上で運行

男鹿駅～男鹿水族館。西海岸の絶景を眺めながらの至福のひととき。

お問い合わせ 浮田産交タクシー ☎0185-47-7011

観光タクシー「2時間フリープラン」

2時間コースでお客様のお好きなスポットをめぐります。

ドライバーおすすめのモデルコースもあります。

3,600円／人(延長30分3,460円／台～) ※2名以上で運行

お問い合わせ 男鹿駅観光案内所 ☎0185-24-2100

モデルプラン

①男鹿駅→鵜ノ崎海岸→ゴジラ岩→門前なまはげ立像→五社堂参拝→男鹿駅
②男鹿駅→寒風山→なまはげ館・男鹿真山伝承館・真山神社→男鹿駅
③男鹿温泉郷→入道崎・八望台→西海岸経由→ゴジラ岩→鵜ノ崎海岸→男鹿駅

※掲載の情報は都度変更となる場合がありますのであらかじめご了承ください

料金や時間などさらにくわしい情報はウェブで 男鹿なび



男鹿の観光案内所

男鹿総合観光案内所 地図I-7

☎0185-35-5300



男鹿半島の入口にあり、敷地内の15mの巨大ナマハゲは人気の記念撮影・インスタ映えスポット。館内では対面式の観光案内をはじめ、半島内の観光パンフレットも充実し男鹿の観光情報の全てがご覧いただけます。寒風山を望みながらコーヒーが楽しめる軽食喫茶コーナーや展示休憩スペースもあります。

場 男鹿市船越字一向207-219
時 9:00~17:00 休 無休



男鹿駅観光案内所 地図E-7

☎0185-24-2100

JR男鹿駅舎内にある観光案内所で、宿泊の斡旋や交通機関の説明などの観光案内のはか、手荷物預かりサービスも行っております(有料)。お気軽に立ち寄りください。

場 男鹿市船川港船川字新浜町1-1(男鹿駅舎内)
時 9:00~17:00 休 無休

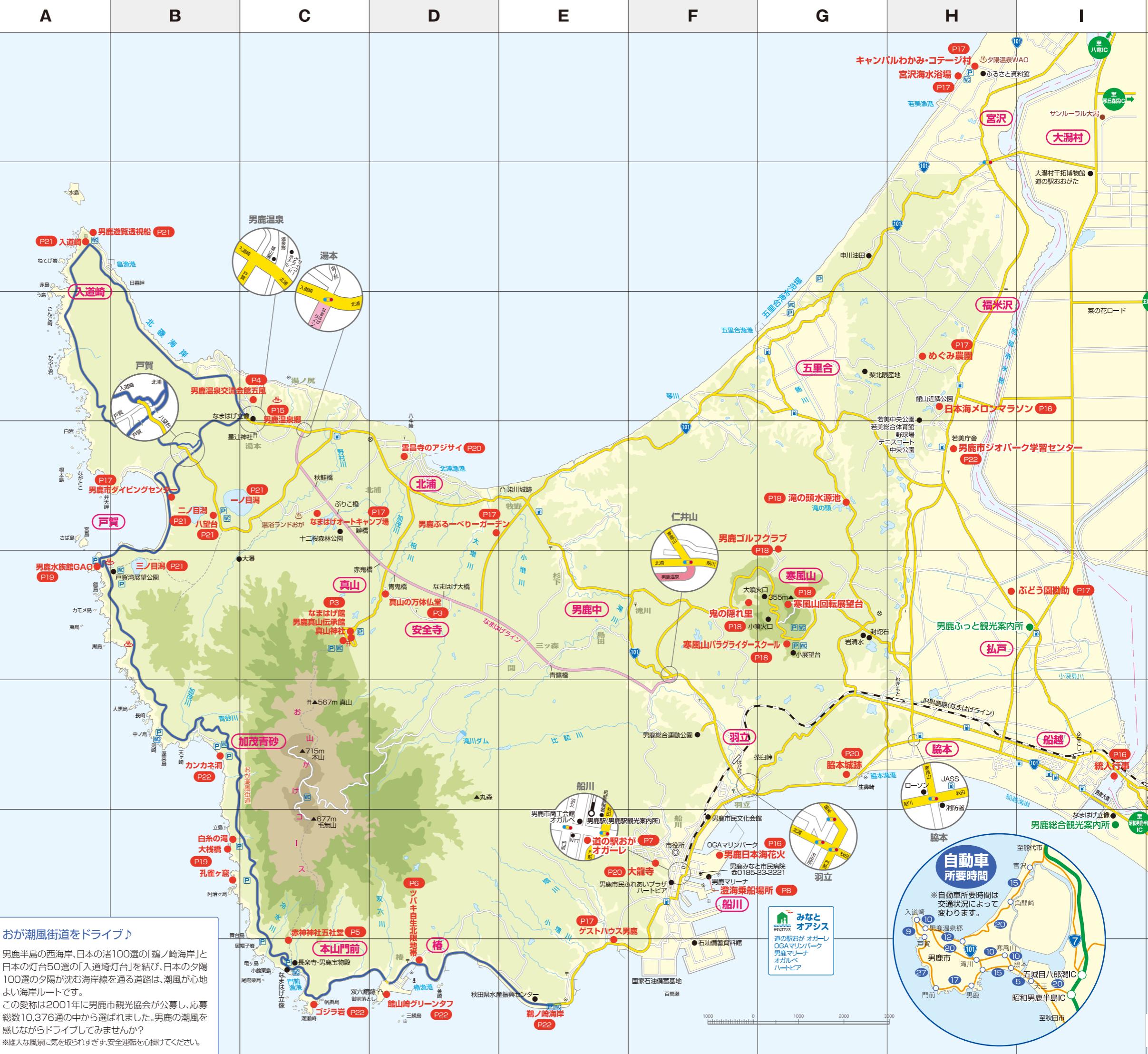


男鹿ふっと観光案内所 地図I-5

☎0185-46-3012

青森・大館方面からの入口にあり、大きなメロンのオブジェ看板が目印。男鹿の観光案内はもちろん、周辺地域の観光情報も準備しています。採れたて野菜の直売コーナー、地元色を活かしたレストランもあり、ゆっくりお楽しみいただけます。長旅での休憩や待ち合わせなどお気軽に立ち寄りください。

場 男鹿市払戸字大堤127
時 9:00~17:00 休 1/1~1/3



男鹿の名物

石焼料理

いしやきりょうり

目で、耳で、舌で味わう男鹿の名物料理

その昔、男鹿の漁師たちは、獲った魚や海藻、ネギなどを水を張った桶に入れ、真っ赤になるまで熱した小石を次々と放り込んで一気に煮込み、味噌を加えて調味したそうです。粗野で奔放ながら、魚介類のダシがきいた味わい深い漁師めしを、観光客の方に味わっていたらこうと男鹿温泉の男鹿ホテルがアレンジして提供しはじめた「磯焼(いそやき)」を発祥に、現在の石焼料理に名を変え、男鹿の名物料理として定着しています。

音と湯気をあげて瞬時に沸き上がる豪快な調理方法を目の前で楽しんでいただきたいという、先達の男鹿人の「おもてなしの心」が生んだ名物料理です。



男鹿温泉のお宿(要予約)や下記の「石」マークのお店で楽しむことができます

豪快な演出に隠された繊細な調理技法

具材の鉄則 新鮮な男鹿の「生の魚介」

高温の石を液体に入れて加熱するストーンボイリングは太古からある調理法のひとつです。真っ赤になるまで焼けた石でごく短時間に汁を沸かし、魚介を急加熱することで旨味を閉じ込めます。アラ汁やザッパ汁とはちがい旨味が汁に出きていないため、具材として魚介の味を堪能できます。石焼料理の大きな特徴は、この「生の魚介を急速に加熱する」点にあります。すでに火の通った魚介を使っては本来の味わいは生まれません。焼けた石を入れて沸き上がる派手な部分に目がいきますが、じつはその演出の裏には、男鹿の魚介をより美味しく召し上がっていただくための繊細な調理技法が隠れているのです。

調理のかなめ 男鹿特有の「金石」

石焼料理に欠かせない「金石」は溶結凝灰岩という岩石です。男鹿北部にある約7千万年前の地層より海中に崩れ落ち、長い年月をかけて丸く磨かれた金石は量が乏しく、いまではとても貴重な資源となっています。その名は「硬くて割れにくく、高温に耐えて金属のように真っ赤に焼ける」ことに由来します。通常の石よりも内部まで熱を蓄えることができるため、水に入れてもすぐ冷めず、石焼料理は実現できています。



春の最盛期の天然真鯛を楽しむ 男鹿半島 食の祭典「鯛まつり」

男鹿の鯛まつりは、男鹿半島内のホテル、旅館、飲食店などが行う食の祭りで、最盛期の真鯛づくし料理を存分にお楽しみいただけます。活きの良い鯛の姿造り、焼き魚、ザッパ汁などの「荒磯の味覚」は訪れる方々の好評を得ています。予約制になっていますので早めにお申し込みください。

例年5/15~6/30
男鹿市内の加盟店設
0185-24-4700

販売店 / 進藤冷菓・千釜冷菓
杉重冷菓・児玉冷菓

ババヘラ

道路端などでお母さん(秋田弁で「ババ」)が卓越したへラさばきでアイスを盛り付けてくれます。そう、ババがへラで盛るアイスなので「ババへラ」。



男鹿ハタハタ丼

男鹿市民のソウルフードである冬の味覚「ハタハタ」を、もつと身近にもっと気軽に、色んなお店で色々な味で楽しんでもらいたいとの思いで生まれた新ご当地グルメです。



男鹿エリア飲食店

日中「お食事」が可能なお店 夜「夜に「お食事」が可能なお店 海 海鮮丼・海鮮定食 石 石焼料理 燃 男鹿しょつつる焼きそば 鮭 男鹿ハタハタ丼 力 カフェメニュー 甘 スイーツ 持 テイクアウト 酒 居酒屋・バー

営業時間や定休日などさらにくわしい情報はウェブで 男鹿なび



西エリア(入道崎・戸賀・加茂)

男鹿水族館GAO レストランフルット	0185-32-2221	昼夜海石焼鮭力甘持酒
なまはげ御殿(ニュー島兼)	0185-38-2011	昼夜海石焼鮭力甘持酒
ドライブイン灯台荘	0185-38-2121	昼夜海石焼鮭力甘持酒
入道崎 海陽	0185-38-2530	昼夜海石焼鮭力甘持酒
龍宮館	0185-38-2131	昼夜海石焼鮭力甘持酒
みさき会館	0185-38-2141	昼夜海石焼鮭力甘持酒
美野幸	0185-38-2146	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿島	0185-38-2626	昼夜海石焼鮭力甘持酒
雄和丸の店	0185-37-2614	昼夜海石焼鮭力甘持酒
くいしんぼう 男鹿ジャン	090-4319-2294	昼夜海石焼鮭力甘持酒
戸賀網元番屋	0185-37-2350	昼夜海石焼鮭力甘持酒
お食事処 海菜	090-7938-7124	昼夜海石焼鮭力甘持酒
Ocean Cafe Honu	0185-47-6040	昼夜海石焼鮭力甘持酒

南エリア(船川)

お食事 省吾	0185-24-2610	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿海鮮市場 海鮮屋	0185-24-5233	昼夜海石焼鮭力甘持酒
秋桜	0185-23-2945	昼夜海石焼鮭力甘持酒
レストラン園	0185-24-2253	昼夜海石焼鮭力甘持酒
食堂みなどや	0185-23-3304	昼夜海石焼鮭力甘持酒
グルメストア フクシマ	0185-23-2624	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿の旬鮮厨房美酒屋すいれん	0185-23-2606	昼夜海石焼鮭力甘持酒
居酒屋秀	0185-23-3830	昼夜海石焼鮭力甘持酒
海清庵	090-2988-7227	昼夜海石焼鮭力甘持酒
化世沢食堂	080-3337-2138	昼夜海石焼鮭力甘持酒
お菓子のかまだ	0185-24-2711	昼夜海石焼鮭力甘持酒
東洋一の海岸線にある男鹿のレストラン	0185-28-0300	昼夜海石焼鮭力甘持酒
GAOのジェラート ガオジェラ(オガーレ内)		昼夜海石焼鮭力甘持酒
TOMOSU CAFE	0185-47-6040	昼夜海石焼鮭力甘持酒
涉水産 鶴ノ崎テラス	0185-27-8666	昼夜海石焼鮭力甘持酒
おかんしゃ	0185-44-1090	昼夜海石焼鮭力甘持酒
函館ラーメン園	0185-23-3832	昼夜海石焼鮭力甘持酒
ミノアカ	0185-47-6040	昼夜海石焼鮭力甘持酒

北エリア(北浦・男鹿温泉・五里合・男鹿中)

浜のそば	090-3687-8104	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿ぶるーベリーガーデンカフェ	080-2842-1884	昼夜海石焼鮭力甘持酒
里山のカフェ ににぎ	0185-27-8422	昼夜海石焼鮭力甘持酒
仕出し小山内食堂	0185-33-2476	昼夜海石焼鮭力甘持酒
温浴ランドおが	0185-33-3715	昼夜海石焼鮭力甘持酒
亀寿司食堂・亀屋旅館	0185-33-2049	昼夜海石焼鮭力甘持酒
島の家	0185-33-2955	昼夜海石焼鮭力甘持酒
福の家	0185-33-4089	昼夜海石焼鮭力甘持酒
スナック ラ・メール	0185-33-3368	昼夜海石焼鮭力甘持酒
こおひい工房 味音	0185-34-2470	昼夜海石焼鮭力甘持酒
金栄堂シャッポー2号店	0185-33-4380	昼夜海石焼鮭力甘持酒
鈴木金栄堂	0185-33-2239	昼夜海石焼鮭力甘持酒

東エリア(船越・寒風山)

ダイニングバーZERO	080-1668-4172	昼夜海石焼鮭力甘持酒
寒風山温泉スカイストラムファミリオ	0185-25-3055	昼夜海石焼鮭力甘持酒
和風レストランきりん亭	0185-35-2700	昼夜海石焼鮭力甘持酒
寒風山食堂	0185-25-2015	昼夜海石焼鮭力甘持酒
恵比寿食堂	0185-35-2069	昼夜海石焼鮭力甘持酒
カフェKENTA	0185-35-4872	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿海鮮料理 三代目ほたる	090-8787-5999	昼夜海石焼鮭力甘持酒
男鹿ふっと観光案内所レストランしらやま	0185-46-2639	昼夜海石焼鮭力甘持酒
酒樂亭 うみひこ男鹿店	0185-35-3565	昼夜海石焼鮭力甘持酒
アメヤ珈琲	0185-47-7451	昼夜海石焼鮭力甘持酒
美晴し	0185-46-3846	昼夜海石焼鮭力甘持酒
ゴンタロー	0185-35-2240	昼夜海石焼鮭力甘持酒
レストランクラム	0185-47-2717	昼夜海石焼鮭力甘持酒
お菓子のボヌ	0185-35-4151	昼夜海石焼鮭力甘持酒

男鹿の宿

効き湯の郷 男鹿温泉郷なら、秋田が誇る大人気アトラクション五風なまはげ太鼓ライブをはじめ
秋田三味線ミニライブ、夕陽鑑賞バスなど楽しみがもりだくさん

保温効果が高く美肌に良いと評判の効き湯 男鹿温泉

おがおんせん

昭和のはじめ頃から、男鹿の宿泊拠点として多くのお客様を迎えていた男鹿温泉郷。

古くは湯治場として、庶民に親しまれてきた効き湯の郷です。

男鹿温泉のお湯は、海水に似た塩分をふくみ入浴後は肌に付いた

温泉成分が汗の蒸発を防ぎ、湯冷めしにくく保温効果が

高いことから「熱の湯」とも謳われています。

美肌にも良いと評判の男鹿温泉のお湯は

趣の異なる7軒のお宿で楽しむことができます。

【泉質】ナトリウム塩化物泉(53~55℃)

【効能】慢性関節リウマチ、創傷、飲用による慢性胃炎、貧血症、婦人病など

男鹿温泉にお泊りのお客様限定 2021年は中止

男鹿温泉郷 湯めぐり

お泊りになるお宿の他に二館(あわせて三館)の温泉を楽しめる
湯めぐり企画。宿ごとに趣の異なる温泉をお楽しみいただけます。

※魔よけのなまはげ包丁を記念品として進呈

期 4~11月 ￥ お一人様1,000円
時 15:00~20:00 / 7:00~8:00 申 お泊りの宿のフロントにて

男鹿エリア宿泊施設一覧

くわしい情報はウェブで 男鹿なび



温 泉 力 カード利用可 W Wi-Fi お一人様OK 日 日帰り入浴OK

ホテル・旅館

男鹿温泉	セイコーグランドホテル	0185-33-2131	温 力 W 一日
	男鹿観光ホテル	0185-33-2121	温 力 W 一日
	男鹿温泉 結いの宿 別邸つばき	0185-33-2151	温 力 W 一日
	元湯 雄山閣	0185-33-3121	温 力 W 一日
	男鹿萬盛閣	0185-33-3161	温 力 W 一日
	男鹿ホテル	0185-33-3101	温 力 W 一日
	温泉旅館ゆもと	0185-33-3151	温 力 W 一日
戸賀	海と入り陽の宿 帝水	0185-37-2331	温 力 W 一日
加茂	男鹿リゾートホテルさららか	0185-47-7220	温 力 W 一日
門前	海と絶景の宿 旅館 浜彩	0185-27-2733	温 力 W 一日
	汐瀬旅館	0185-27-2711	温 力 W 一日
船川	ホテル諸井	0185-24-3201	温 力 W 一日
船越	ホテル男鹿の屋	0185-22-6311	温 力 W 一日

*新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、日帰り入浴を中止する場合があります。ご利用の際は各施設へお問い合わせください。

男鹿のイベント・まつり



2021年は中止

7月

男鹿ナマハゲロックフェスティバル

音楽のチカラで男鹿を盛りあげよう、と地元の有志によつてはじまった音楽イベント。毎年7月下旬に開催され、1万人近く来場者の熱気で会場が盛り上がりをみせます。男鹿の夏を代表するイベントのひとつ。

期 例年7月下旬開催 場 船川港特設会場
実行委員会 ☎0185-24-2226



2021年は中止

8月

男鹿日本海花火

毎年8月14日に男鹿駅近くの港湾緑地を会場に開催。間近に上がる花火、音楽や光が織りなすエンターテインメント、男鹿日本海花火ならではの演出が楽しめる男鹿の夏を代表するイベントのひとつ。

期 8月14日 場 OGAマリンパーク
実行委員会 ☎0185-24-9142



2月

なまはげ柴灯まつり

神事柴灯祭と民俗行事男鹿のナマハゲを組み合わせた男鹿の冬を代表する観光イベント。真山神社境内に焚き上げられた柴灯火のもとで繰り広げられるなまはげの乱舞は見る人の魅了します。

くわしくはP1に掲載



4月

寒風山山焼き

草原の寒風山を維持し、植生を保全することを目的に山焼きを実施しています。例年多くのボランティアの参加によって行っています。

期 4月中旬 場 寒風山
実行委員会 ☎0185-24-9141



7月

東湖八坂神社祭の統人行事

神幸祭は7月7日で、潟上市からは牛乗り、男鹿市からはくも舞を演じる人が登場します。八岐の大蛇退治の故事と水神信仰と習合させた祭礼です。

期 7月7日 場 八竜橋周辺(船越)
市文化スポーツ課 ☎0185-24-9103



7月

日本海メロンマラソン

「真夏のマラソン大会」「メロンが食べられるマラソン大会」として秋田県をはじめ全国から4,000人近いランナーが集う人気の大会です。

期 7月下旬 場 館山近隣公園
実行委員会 ☎0185-46-3113

男鹿の新しい旅のチケット

男鹿の新しい旅のチケット

マスクがあると、私も周りも安心。
こまめに換気、旅のごちそうは、男鹿の潮風。
旅先では、いつもよりも手洗い・消毒。
混んでたらまたあとで。
毎朝かかさず、体温・健康のチェック。
ゆったり並んで、心もゆったり。
旅行先の状況確認を忘れずに。
今は笑顔で会釈しよう。握手はまた今度。
車内のおしゃべりは控えめに。
おしゃべりはほどどに、海鮮料理に舌鼓をうつ。
おみやげ選びは、触らず目で。



I FOUND! OGA

観光映像サイト
和訳すると、「男鹿を見つけた！」。
これが男鹿なのか、こんな一面もあるのか。
男鹿についてそんな発見をしてもらいたい。
いろんな男鹿を見て、わくわくしてもらいたい。
そんな思いをこめて、このサイトを作りました。
ぜひ、あなただけの「男鹿」を見つけてください。

男鹿で、合宿するとお金がもらえる？

男鹿市スポーツ合宿等誘致促進事業補助金

男鹿市外のスポーツ・文化活動などの団体が、男鹿市内で行う合宿等を助成します。この合宿補助制度はスポーツ合宿「等」とあるようにスポーツや部活動だけでなく文化・芸術活動を行うゼミやサークルも補助対象となります。ぜひ「スポーツ合宿等誘致促進事業補助金」を活用して、男鹿で合宿を行ってください。

男鹿市観光文化スポーツ部 文化スポーツ課
☎0185-24-9102

男鹿のキャンプ場

なまはげオートキャンプ場

オートキャンプサイト70区画をはじめ
フリーサイトとしても使える多目的広場や
キャンピングカー専用サイト、炊事場を兼
ねたサンタリー棟やコテージなどがあり
とレイアウトされています。

場 男鹿市北浦北浦平岱山地内
☎ 0185-22-5030
営 テント:4/10~11/30・コテージ:通年
¥ 入場料400円(小中学生200円)
テントサイト1泊1区画4,180円
コテージ1泊1棟12,600円



宮沢海水浴場



長く続く美しい砂浜と日本海に沈む夕陽が
魅力的な海水浴場で、県内トップクラスの
水質を誇り『快水浴場100選(環境省選定)』
にも選ばれています。カップルやファミリー
など多くの幅広い年齢層から支持されて
いる人気スポット。

キャンパルわかみ・コテージ村

長く続く美しい砂浜と日本海に沈む夕陽が
魅力的な宮沢海水浴場に隣接。緑あふれる
キャンプサイトからは雄大な日本海が望め
ます。家族や仲間同士でアウトドアライフ
を満喫してください。

場 男鹿市野石字大場沢下1-78
☎ キャンパルわかみ コテージ村
0185-22-8222 0185-47-2926
営 テント:4/20~10/31・コテージ:通年
¥ 入場料400円(小中学生200円)
テントサイト1泊1区画4,180円~・コテージ1泊1棟11,000円~



男鹿の海水浴場

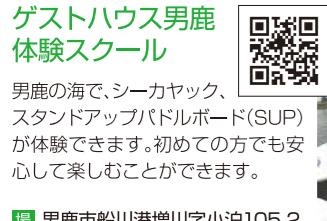


宮沢海岸 海の家

いこい	☎ 0185-47-2718	わかみや	☎ 090-7336-0005
なごみや	☎ 090-1064-3639	はまぐり屋	☎ 0185-47-2241
いなほ	☎ 0185-47-2523	ビーチハウスよもぎだ	☎ 0185-47-2258
海の家サーフ	☎ 0185-47-2784	あそびや	☎ 080-1821-1394

※基本的に海開き期間内のみ営業

体験・レジャースポット



男鹿の海で、シーカヤック、
スタンドアップパドルボード(SUP)
が体験できます。初めての方でも安心して楽しむことができます。

場 男鹿市船川港増川字小泊105-2
☎ 080-9633-0083 **営** 5~10月
¥ 1時間1,100円~(初回利用者は3,850円で約2時間海の安全講習付)
1回1~5人まで/メガサップ10人乗り(2時間19,800円)もあり



男鹿市ダイビングセンター

男鹿の海で体験ダイビングを楽しんでみませんか?
初めての方もベテランガイドがしっかりサポートする
ので安心です。参加特典として記念画像をプレゼント!

場 男鹿市戸賀浜塩谷大沢15 **☎** 0185-37-2677
営 7~10月上旬(ベストシーズン9月)
¥ 体験ダイビング 2名様 8,500円/人
1名様 12,000円/人

めぐみ農園

男鹿ふと観光案内所から車で約10分のところにある
広大な農園では、幸水・豊水・あきづき・秋泉・南水・新興
の6種類の梨を栽培しています。愛情たっぷりに育てられた梨は糖度が高いことで有名です。

場 男鹿市鶴木字松木境152 **☎** 0185-46-2522
期 9月上旬~10月下旬 **時** 9:00~16:00
¥ 入園無料(狩りとった分をお買い上げ)



ぶどう園 勘助 かんすけ

男鹿ふと観光案内所から車で約2分のところにあり、
10種類を超えるぶどうの販売・ぶどう狩りが楽しめます。
一房ずつ丹精込めて育て上げたぶどうは、毎年遠方のリピーターさんから発送依頼があるほど高品質。

場 男鹿市払戸渡部38(駐車場完備)
☎ 090-4886-7752
期 例年8月末~10月上旬 **時** 10:00~17:00
¥ 入園無料(狩りとった分をお買い上げ)

男鹿ぶるーべりーガーデン

約25品種、千本を超えるブルーベリーが無農薬栽培で育てられており、
例年7月~8月上旬の開園期間に摘み取り体験ができます。品種ごとに大きさや味が違うので、摘み取った実を試食しながら、好みの品種を見つけて
摘み取るのがおススメ(摘み取った実は貰い取り。食べ放題ではありません)。また、園内には「ぶるーべりーガーデンカフェ」も併設。園内でとれた
新鮮なブルーベリーを使ったブルーベリーピザやラッシー、男鹿産の新鮮な野菜や魚介にこだわったランチなどが楽しめます。

場 男鹿市北浦相川神田12-3 **☎** 080-2842-1884 **時** 10:00~16:00
休 カフェは水・木定休 ※摘み取りは7月上旬~8月上旬



緑の中にさわやかな風を感じて

温浴ランドおが隣接 なまはげオートキャンプ場

10haもの広いエリアの中にキャンプサイトや
アウトドアを満喫できる各種施設をレイアウト

隣に温泉もあるので満足度バツチです

男鹿市北浦北浦字平岱山地内 **☎** 0185-22-5030



寒風山回転展望台

大潟村、鳥海山、入道崎と、ぐるっと360度の大
パノラマが一回転13分で満喫できます。
展望台館内にはレストランが併設されていて
秋田の郷土料理をいただくことができます。

場 男鹿市脇本富永寒風山62
☎ 0185-25-3055 **期** 3月中旬~12月上旬
¥ 550円(小中高生270円) ※団体割引あり



寒風山「を」ではなく、寒風山「から」眺める。

眺望 世界三景 寒風山

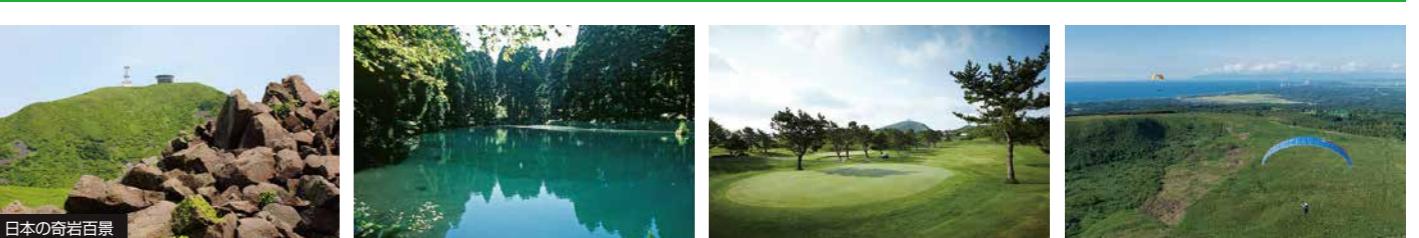
ちょうぼう せかいさんけい かんふうざん

日本でも有数の大半を芝生で覆われたなだらかな山容で、車でいる頂上付近からは360度の風景を楽しめます。周辺には蛇越長根、鬼の隠れ里、玉ノ池、岩清水など伝説に彩られた見所も数多くあり、355mの低山でありながら、市内外からの来訪者を引きつける魅力を充分に兼ね備えています。白神山地や鳥海山までを遠望できる日中はもちろん、空も海も山も紅く染まる夕景、そして秋田市街へと続く光の湾曲が美しい夜景のスポットとして男鹿はもちろん、秋田県民にとって最も手軽で身近な山として愛されています。

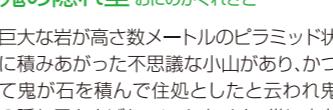


頂上付近まで気軽に車で行けることもあり、夕景や夜景スポットしても非常に人気です

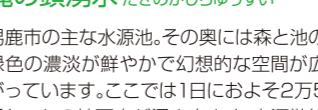
寒風山は遊びとみどろの宝庫



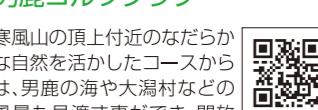
日本の奇岩百景



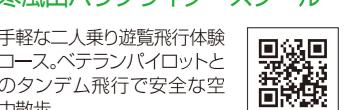
滝の頭湧水



男鹿ゴルフクラブ



寒風山パラグライダースクール



鬼の隠れ里 おにのかくれざと

巨大な岩が高さ数メートルのピラミッド状に

積みあがった不思議な小山があり、かつて

鬼が石を積んで住処としたと云われ

鬼の隠れ里とよばれています。また、常に水を

たたえ涸れることがないという弘法の硯石

と呼ばれる巨石もあります。

たきのがしらゆうすい

男鹿市の主な水源池。その奥には森と池の

緑色の濃淡が鮮やかで幻想的な空間が広

がっています。ここでは1日におよそ2万5

千トンもの地下水が湧き出ます。水源散策

はおよそ20分の行程。

入口(道路わき)には無料の水汲み場があ

り、この水でお茶やごはんを炊くと美味し

いと人気になっています。

冬季休業

男鹿市五里合箱井長信太68-2

0185-25-3131

15人程度まで

一人20~30分

7,000円/人+保険料600円



男鹿水族館GAO

日本海の海際という絶好のロケーションに立つ水族館。
水量815トンの男鹿の海大水槽では、40種2千匹の魚が
ダイナミックに泳ぎます。
ホッキョクグマ豪太をはじめ、ペンギン、アザラシも人気者です。
景色のよいレストランのみの利用もできます。

☎ 0185-32-2221
時 9:00~17:00(最終入館16:00)
季節等により変更の場合あり
休館日はHPを参照

¥ 1,100円(小中学生400円・幼児無料・団体割引アリ)



秋田県の県魚「ハタハタ」を国内で唯一、一年を通して展示しています。ハタハタに特化したコーナー「ハタハタ博物館」では、生態展示はもちろんパネルや映像を通して、秋田県に根付くハタハタの食文化や、ハタハタを取り巻く環境を紹介しています。

生きものの特性を飼育スタッフの解説付きで紹介する「生きものたちのエサの時間」や、各種ふれあいイベントを実施しています。
※時期限定／詳細はホームページをご覧ください。



男鹿の絶景を海から楽しめます



孔雀の窟 こうじやくのいわや 岸指定天然記念物

男鹿西海岸に12もある洞窟の中で最大、高さ7m・幅15m・奥行きが25m、さらに二つに分かれて地底に消えています。洞窟の天井は岩の花といわれる神秘的な模様があり、幻想の空間になっています。伝説によれば洞窟の奥には石の扉を閉じて女神がこもっているとか？

大桟橋 だいさんきょう 日本の奇岩百景

長い年月を経て、日本海の荒波が巨大な岩を浸食し、橋の形を形成したもので、そのスケールは目を見張ります。
ぜひ観光遊覧船から、その迫力を体験してみてください。

白糸の滝 しらいとのたき

男鹿半島の最高峰本山の山裾から海に直接流れ落ちていて、陸上からは見ることができず海上遊覧船でしか望めない秘境スポットのひとつです。
真っ直ぐに断崖を流れ落ちる様が、白糸の乱れ飛び姿に見えることから、江戸時代の初めには既にこの名で呼ばれていました。

道の駅おがオガーレ内 ガオジェラ

季節ごとの限定フレーバーや
地場産の食材をつかった
ここでしか味わえない
ジェラートも多数。
道の駅おがオガーレに
お立ち寄りの際はぜひ!!



*ガオジェラは男鹿水族館GAOが運営しています



海の青、花の青、男鹿ブルーに染まる絶景 青の癒し空間

「死ぬまでに行きたい！世界の絶景 公式WEBサイト
2017年 国内ベスト絶景・第一位」に選ばれた
雲昌寺のアジサイ
うんしょうじのあじさい



近年、男鹿の新たな見どころとして注目を浴びている、北浦の雲昌寺のアジサイ。古仲副住職が15年以上の歳月を費やし、手塩にかけて育てたアジサイは一株につく花の数が多く、満開の頃には一面が青色に染まり、その奥には北浦の港町、そして男鹿の海が広がり、ここでしか見られない風景を作り出しています。例年6月の下旬が満開時期で、6月中頃から7月上旬にかけてが見ごろ。

¥ あじさい期間拝観料(2021年) 9:00~17:00(最終入場16:30) 500円(拝観料200円+あじさい期間特別拝観料300円)
夜間ライトアップ拝観料(2021年) 18:45~21:30(最終入場21:00) 1,000円 ※中学生以下無料 ※通常拝観料 200円

神社仏閣・史跡は他にもたくさん

脇本城跡

わきもとじょうあと

国指定史跡

続日本100名城選定

東北地方の有力武将、安東愛季(ちかすえ)が戦国時代に居城した城跡で、東北最大級の大きさを誇ります。城を守るために土壘や建物が建っていた曲輪(くるわ)、井戸跡などが非常に良く残っており、発掘調査では陶磁器に加え、火縄銃の弾や甲冑、刀の金具などが多く出土(出土品の一部はジオパーク学習センター(P22参照)で見学できます)。また、城跡からの眺めは抜群で、城主の気分を満喫できます。



※続日本100名城のスタンプは中腹の案内所にあります(冬季を除く)

赤神神社五社堂はP5／真山神社はP3参照

大龍寺 楽水亭庭園

だいりゅうじゅうらくすいていひえん

日本海と山脈を借景とし、紅葉やツツジなど四季の景観が美しい「大龍寺 楽水亭庭園」。明治時代に地元名士が別荘として造った「楽水亭」は、豪華ながらも草木と建物が調和した品のよい美しさがあります。眺望がよい鐘堂で大梵鐘を撞くことができ、三百五十の仏様がお祀りされた伽藍をゆっくり拝観できます。御朱印、予約により坐禅や写経体験も人気です。



☎ 0185-24-3546 注 20名以上要予約

¥ 拝観料500円 時 8:30~16:30 ※11月~3月は16:00まで



男鹿温泉郷SKOグループ

男鹿市北浦湯本字草木原50-1 ☎ 0185-33-2131

セイコーグランドホテル

男鹿市北浦湯本字草木原21 ☎ 0185-33-2121

男鹿観光ホテル

男鹿市北浦湯本字草木原13-1 ☎ 0185-33-3101

男鹿 ホテル

男鹿市北浦湯本字草木原13-1 ☎ 0185-33-3101

男鹿 温泉・湯
リゾート





入道崎



入道崎 イュうどうざき

西海岸の終着、半島の西北端に位置する入道崎は、夕陽のみどころとして毎年多くのお客様が訪れる男鹿を代表する景勝地です。

入道崎灯台 イュうどうさきとうだい

日本の灯台50選にも選ばれている入道崎灯台は、国内三千基超の中わずか16ヶ所しかない登れる灯台。灯台資料展示室も併設され灯台の歴史と知識を見学することができます。



018-845-1624 / 秋田海上保安部交通課
時 4月下旬~11月上旬の9:00~16:00
¥ 300円(小学生以下無料)



男鹿遊覧透視船 おがゆうらんとうしせん
入道崎灯台の下にある船着場から、沖合の岩礁・水島までの間を30分程度で往復します。
0185-38-2050
¥ 1,100円(小学生半額・幼児無料)
時 4月下旬~10月末日 ※荒天時欠航の場合アリ
8:30~16:30の間随時(所要時間 約30分)

親子で発見!! 思い出づくり

ジオガイドが一緒なら化石の発見率アップ!?
ゴジラ岩もしっかり案内できます

潮瀬崎のゴジラ岩で記念撮影



ジオパーク DE ドライブ モデルコース



ナマハゲゆかりの謎めぐり ジオガイドが一緒なら地元に伝わる伝説など ちょっとディープな旅の思い出がつくれます



男鹿半島・大潟ジオパーク 認定日:2011年9月5日

日本列島の生き方がわかる地層博物館「男鹿」と、日本で2番目に大きかった湖の底にできた人工の大島「大潟」。恐竜がいた7000万年前から現在までの大地の歴史、人の歴史を順番に観察することができる日本唯一のジオパークです。男鹿のナマハゲに代表される歴史や文化、自然、動植物に加え、大地の豊かな恵みが育む食文化と、それらを担う人々の生活など「人と大地の物語」に恵まれています。



男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会

「男鹿半島・大潟ジオパークガイドの会」の認定ガイドがご案内。ジオガイドの案内の元、五感をフルに活用し、ジオパークを全身で感じてください。

問 ジオパーク推進協議会 0185-24-9104



男鹿市ジオパーク学習センター
〒010-0493 男鹿市角間崎字家ノ下452
男鹿市役所若美庁舎2F ☎0185-46-4110
時 9:00~16:00 ¥ 入館無料
休 月・火(祝日の場合は翌日)
および12/29~1/3

一ノ目潟

八望台

三ノ目潟

男鹿温泉郷

男鹿水族館GAO

二ノ目潟

寒風山

男鹿駅

鶴ノ崎海岸

館山崎 グリーンタフ

赤神社五社堂

ゴジラ岩

門前のナマハゲ立像

カンカネ洞

加茂青砂

男鹿駅

大橋

孔雀の庭

おが潮風街道

西海岸

奇岩怪石が織りなす自然の造形美 絶景の西海岸

西海岸の特筆すべきは、山と海とが織り成す迫力の風景美。真山、本山から一気に海まで駆け下りる急斜面に縫うように敷かれた「おが潮風街道」を車でゆけば、必ずや自然の雄大さに心を奪われる事でしょう。



鶴ノ崎海岸 うのさきかいがん

干潮時に海底の岩肌が露出するくらいの浅瀬が200mほど続く海岸。鏡のような水面に反射した風景は「秋田のウユニ塩湖」とも呼ばれ、SNSなどでも人気のスポットです。

館山崎グリーンタフ たてやまざき

男鹿半島・大潟ジオパークを代表する岩石。圧倒的なスケールで、目を見張るほど鮮やかな緑色は雨で濡れると一層深みを増し、ターコイズのような色となります。

